

地震工学委員会 平成 23 年度第 2 回拡大運営幹事会 議事録

日時：平成 23 年 7 月 15 日（金） 15：00～17：00

場所：土木学会 A 会議室

出席者：小長井委員長、清野副委員長、秋山幹事長、富田幹事、豊岡幹事、濱野幹事（記録）、藤原幹事、山本幹事、吉見幹事、当麻委員、木全委員、竹内顧問、永田委員、橋本委員、若松委員、尾崎事務局担当

◎議題と主な議論・決定事項

（１）前回議事録（案）の確認

- ・秋山幹事長より、資料【**拡幹 H23-02-01**】に沿って前回議事録案の説明が行われた。
- ・震災を踏まえての活動案提示に対する自由討議において、地震工学委員会の中に東日本大震災対応の特別小委員会を設けるのがよいという意見に加えて、“小委員会活動の中で、特別委員会の特定テーマ委員会としてふさわしいものがあれば、加えていただくのがよい。”という内容も追記しておく。
- ・字句の修正をしておく（ライフライン支障⇒ライフライン機能支障）。

（２）審議事項・報告事項等

■小委員会活動計画（案）の確認

- ・藤原幹事より、資料【**拡幹 H23-02-02(1)～(3)**】に沿って、H23 年度小委員会活動補助費、小委員会の新設について説明が行われた。
- ・平成 23 年度の小委員会活動補助費として、6 小委員会より申請書が提出されている。
- ・かつては行事費としての申請もあったが、現在は認められていない。
- ・前回の拡大幹事会で承認された、「津波避難調査小委員会」および「水環境 NW 災害軽減対策研究小委員会」については、今後所定の様式で活動計画を提示いただく。
- ・「地下構造物の合理的な地震対策研究小委員会」は、H22 年度で活動を終えているが、今後「地震対策ガイドライン」の報告会を計画している。ガイドラインの内容について運営幹事会へ確認する必要はないが、報告会として行事を企画するのであれば、運営幹事会に行事計画書の提出が必要である。
- ・竹内顧問より、資料【**拡幹 H23-02-02(4),(6)**】に沿って、水環境 NW 災害軽減対策研究小委員会の設置について説明が行われた。
- ・8 月に第 1 回準備会が予定されているが、準備会への参加のみでは学会として“委嘱状”は発行できない。旅費等が発生しなければ委嘱状は不要なはずであり、竹内顧問より、当該委員および学会事務局に必要な事務手続きについて再度確認する。
- ・木全委員より、資料【**拡幹 H23-02-02(7)**】に沿って、地震防災技術普及小委員会で企画中の第 11 回地震災害マネジメントセミナーについての説明が行われた。
- ・本セミナーは、地震工学委員会の後援行事として実施するものであり、東日本大震災の教訓をテーマとして、行政・研究・事業、各分野から講師を招いて、地震防災の在るべき姿について考えるものである。
- ・既に、小長井委員長には実施の方向で内諾を頂いており、また、来年 3 月には 6 学会の

国際シンポジウムの企画が日本地震工学会でもあるため、川島会長ならびに若松副会長にも内容について確認を頂いている。

- ・現在、講師の人選中であり、東北地整の徳山局長には小長井委員長から講演依頼（代理者選任も含めて）をして頂く。
- ・永田委員より、資料【**拡幹 H23-02-02(5)**】に沿って、第3回「相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム」の開催についての説明が行われた。
- ・シンポジウムの具体の収支が分からないので、今後、赤字にならないように行事計画書を作成し、次回の拡大運営幹事会で報告する。

■特別委員会および6学会連絡会の報告

- ・若松委員より、【**拡幹 H23-02-03(1)**】に沿って、主に国際シンポジウムの実施について説明が行われた。
- ・来年3月3日、4日に日本地震工学会を事務局として、6学会共催の国際シンポジウム（学術シンポジウム）を日本建築学会ホールで開催する。
- ・また、3月5日、6日に、土木学会の国際シンポジウムが安田講堂で開催される。こちらは主に一般市民、実務者向けの国際会議であり、同時通訳がつく。
- ・さらに、3月1日、2日には建築学会の国内シンポジウムが予定されている。
- ・6学会の国際シンポジウムには、海岸工学委員会への声かけも必要である。

■原子力土木委員会の活動について

- ・当麻委員（原子力土木委員会委員長）より、【**拡幹 H23-02-04(1)～(3)**】に沿って、原子力土木施設に関わる東日本大震災対応小委員会の設置について説明が行われた。
- ・本小委員会の位置づけは、3つ（①原子力土木委員会内の小委員会、②地震工学委員会との合同小委員会、③特定テーマ委員会）考えられるが、原子力土木委員会単独の小委員会というよりは、地震工学委員会との合同小委員会、あるいは東日本大震災特別委員会における特定テーマ委員会とする方が望ましい。
- ・特定テーマ委員会は、約1年で成果を出し、政策提言を発信することがミッションとなっているが、とにかく情報が集まっていないことや、最大水位を超えた場合の議論をしていないこともあり、現状では少しハードルが高い。
- ・しかし、業界から自主的に情報が出てくる気運があり、政策提言に繋がるような事実があれば、特定テーマ委員会としての道もある。
- ・今回の震災を鑑みれば、まずは津波評価技術の検討が中心テーマになる。
- ・予定では、7月中に委員構成を諮り、8月より活動を開始したい。また、国際会議での報告なども含め、国際的にも情報を発信していきたい。
- ・火力についても言及する必要があるが、電力需要等を踏まえて、事実を報告する。
- ・対象は土木施設とし、建築施設や機械・設備については当面考えない。

■地震工学委員会内設置震災対応小委員会について

- ・小池先生からご提案のあった「国際化対応小委員会」については、清野副委員長からご提案の「震災対応特別小委員会」と併せて「東日本大震災対応特別小委員会」として設置

する方向とし、小池先生に同小委員会のとりまとめをお願いする。

・また、拡大幹事会においても、各小委員会の調査研究活動成果等の情報の共有が必要であるととも、国際化対応への布石として、小委員会サマリーの英文化も必要となってくる。したがって、これらの情報の共有化について、小長井委員長が清野副委員長やウェブ担当の高橋幹事を交え、小池先生に相談する。なお、土木学会の東日本大震災特別委員会情報共有サイトの活用も可能であり、具体の運用について尾崎事務局担当より確認いただく。

(3) その他

・小長井委員長より、資料【**拡幹 H23-02-03(4)~(6)**】に沿って、その他の連絡事項等について説明が行われた。

・安全特定テーマ検討については、阪神淡路大震災後に2段階設計法が提言されたように、今回はこれを拡大解釈して、社会活動、システム、サービス対応まで、トータルとして国民の安全性を確保するアプローチが中心となる。

・ASCE-TCLEE 調査報告会では、日本側参加者が少なく、もっと関係者に声をかけて参加していただいた方が良かった。

配布資料

- 【**拡幹 H23-02-01**】 平成 23 年度第 1 回拡大運営幹事会議事録（案）
- 【**拡幹 H23-02-02(1)**】 H23 年度 小委員会活動補助費 申請状況表／H22 年度実績
- 【**拡幹 H23-02-02(2)**】 H23 年度 地震工学委員会小委員会活動補助費申請書
- 【**拡幹 H23-02-02(3)**】 地震工学委員会「津波避難調査小委員会」（案）の新設について
- 【**拡幹 H23-02-02(4)**】 地震工学委員会「水循環 NW 災害軽減対策研究小委員会」（案）の新設について
- 【**拡幹 H23-02-02(5)**】 第 3 回「相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム」開催のご案内
- 【**拡幹 H23-02-02(6)**】 上記小委員会・第 1 回準備会について
- 【**拡幹 H23-02-02(7)**】 東日本大震災関連の事業企画について－第 11 回地震災害マネジメントセミナー－
- 【**拡幹 H23-02-03(1)**】 東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会 第 3 回連絡会議打合せ要旨（案）
- 【**拡幹 H23-02-03(2)**】 東日本大震災特別委員会の報告（小長井委員長からのメール）
- 【**拡幹 H23-02-03(3)**】 土木学会の東日本大震災に対する動きについて（家田先生からのメール）
- 【**拡幹 H23-02-03(4)**】 安全特定テーマ検討について
- 【**拡幹 H23-02-03(5)**】 小長井委員長からの各種連絡事項（全国建設研修センター講習会講師推薦、ASCE Annual Conference への招待、科学技術振興機構からの CREST・さきがけ平成 23 年度研究提案募集の案内、安全特定テーマ委員会についての意見のお願い）
- 【**拡幹 H23-02-03(6)**】 ASCE-TCLEE 調査報告会プレゼンテーション資料

- 【拡幹 H23-02-04(1)】 特定テーマ委員会登録書「原子力土木施設に係わる東日本大震災対応小委員会」
- 【拡幹 H23-02-04(2)】 委員構成「原子力土木施設に係わる東日本大震災対応小委員会」
- 【拡幹 H23-02-04(3)】 原子力土木委員会「原子力発電所の津波評価技術について問い合わせの多い内容と回答

以上